

大高五郎左門石井の門を主水其子山本郡の軍残らず
降参りて味方子房一あれど人愛を最其後めて城く
を退散しし城ふと角館諸士を致しをむひ降陳る
り道盛云れ武威近國に隠れるつりし山形の衆上
修理太夫義守、白鳥左京進、義忠、大梵寺左馬頭等
等便を求め音信をぞきたりし山本の三郎を、家卜市
治めしれ仙北浦の遊を残り少るを從ふ小野寺中
宮介進道沼指れ城に措き角館に據下山の氏家を
をむやうす半度しり是は依て彼等を退治せんとして
道盛云天文十年四月九日角館を打ちとふ其人しめり

小笠原尾張守本當源三郎六郷伊賀守白岩屋守郎
戸沢修理元小館市正門を肥前田口美濃永山淡路
菅重八郎、門將監堀田駿河、門仁兵衛、田口平次郎、茂
水因幡前田但馬佐々木新之見、玉丹後、門見助、小山田
外託、細田勝九郎、戸次房九郎、口八郎、西野修理井
関五郎八傳、亮郎、鈴木丹波、隱明寺、日向、久保、南
門長藏、下田作藏、門主馬達、藤成部、大野、関、但馬
門、甚九郎、大森、吉平、賀太郎、八日孫、作村、越、伯、孝
門、早之元、河田、權、兵衛、丸山、喜太郎、門、右、兵衛、菅、命、右
湯、門、日、造、酒、之、元、戸、次、相、模、梅、江、豊、前、門、右、郎、門、小、白、河